

平成 20 年度
横浜市港南地区センター事業計画書

指定管理者 港南区区民利用施設協会

事業計画書様式2－(2)

1 港南区区民利用施設協会に関すること

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績（活動実績）について

(ア) 港南区区民利用施設協会の経営方針について

港南区区民利用施設協会は、地区センター3館、コミュニティハウス5館及びスポーツ会館の合計9施設の運営・管理業務を行っており、長年の実績を有しています。

当協会は、『つどい、ふれあい、にぎわう』

『地域に育てられる』

『育て、育ちあう』

をモットーに、長年積み重ねた運営のノウハウ及び地域との連携・信頼関係を生かして、地域住民が身近な場所で、個人利用やさまざまなグループによる活動を円滑に行うことができるようにします。その中で住民同士の交流が図られることにより、都市において失われがちな地域コミュニティが醸成されることを目指して、地域に密着した経営に努めます。

運営については、当協会が長期に安定して運営してきた実績を元に、「経営」の視点を持って、これらの施設及び協会事務局が持つ人的、物的資源を連携して活用します。それとともに、各施設の運営については、地域及び利用内容等の特性を尊重し、基本的な共通事項については、可能な限り統一することにより、利用の利便性・公平性の保持を図るとともに、この中で、有料制の実施を機に「お客様へのサービス提供」との理念を改めて再認識し、より良い運営に努めていきます。また、運営・管理業務を効率的に行うために、会計経理、労務管理を協会事務局が一元的に行うことにより、スケールメリットを生かすとともに、弾力的な運用を図り、収入の増加及び管理費の節減等に努めます。

(イ) 港南区区民利用施設協会の事業実績（活動実績）について

当協会は、平成7年4月に区民利用施設の管理運営業務を開始し、現在次の9館の運営管理を事務局含めて87名で行っています。この間、地域に密着した運営を行い、利用の拡大とサービスの向上に努めており、地域からも高い評価を得ています。

また、自主事業についても、利用者のニーズ、自主性を取り入れた講座等を実施し、平成18年度の利用実績は439,057人となっており、概況は次のとおりです。

施設名	来館者数(人)	自主事業数	左欄の参加延べ人数(人)
港南地区センター	83,020	33	2,678
東永谷地区センター	81,920	27	2,587
野庭地区センター	83,071	37	2,144
桜道コミュニティハウス	30,615	14	1,192
下野庭スポーツ会館	19,837	7	743
野庭東コミュニティハウス	31,080	5	614
上永谷コミュニティハウス	44,992	5	140
日限山コミュニティハウス	37,610	4	630
港南台コミュニティハウス	26,912	10	440
合計	439,057	142	11,168

(ウ) 港南区区民利用施設協会の考える情報提供及び情報公開について

情報提供の充実は、

- ① 利用者の増加
 - ② 利用者の情報入手機会の拡大
 - ③ 利用者への興味の触発、動機づけ
- のために必要であり、そのために次のことを行う。
- ① 施設案内パンフレットによる概要、利用方法等のPR
 - ② 『施設だより』の発行
 - ③ 自主事業内容、事業ごとの周知、募集
 - ④ 広報区版の活用
 - ⑤ 港南区ホームページの活用
 - ⑥ 生涯学習支援センターでの情報提供
 - ⑦ 他の地区センターやコミュニティハウスでのポスター、チラシの配布、自治会町内会の掲示版の利用、班回覧への依頼。
 - ⑧ ケーブルテレビを媒体として利用、放映。
 - ⑨ 館内にPRコーナーを設置し、館の情報、グループ活動情報の提供等に活用。

情報公開は、

施設管理運営の透明性の確保により、利用者の信頼獲得のために必要であり、そのために次の情報を公開する。

- ① 経営方針
- ② 個人情報取扱方法
- ③ 利用要綱
- ④ 苦情・事故の対応方法
- ⑤ 事業計画書、報告書
- ⑥ センター委員会の結果報告
- ⑦ 利用者アンケートの結果報告
- ⑧ 利用者会議の結果報告
- ⑨ 第三者評価の結果報告
- ⑩ その他

『港南区区民利用施設協会のホームページ』を新規開設します。

- ≪目的≫
- ・ 協会および各施設の管理・運営をオープン
 - ・ 協会および各施設のPR強化
 - ・ 利用者が知りたい「施設協会および各施設の情報」を入手し易くする。

以上により、さらなる施設利用者の拡大に向け情報提供、公開の強化、充実に努めます。

2 港南地区センターの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

(イ) 地区センター管理運営の位置づけについて

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

当協会は、5館の地区センターを含み、12施設を運営管理してきた実績を有し、それらの物的、人的資源を連携して活用することにより、単一施設の枠を超えて役割の向上を図っています。

今後とも港南地区センターを含む複数施設を運営することにより、それぞれの施設の特徴を尊重しつつ、蓄積されたノウハウ等を生かすとともに、事業面でも相乗効果を発揮し、お客様に対してさらなる良好なサービスを提供できるものと考え希望するものです。

(イ) 申請団体における地区センター管理運営の位置づけについて

1及び2(ア)で述べましたように、当協会の役割及び業務内容において、地区センターの管理運営はその中枢を担うものであり、地域・施設の多様性、自主事業の企画力強化等の面で、総合力、効率性、相乗効果の発揮のために港南地区センターの運営は不可欠です。

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

港南区は、起伏の多い地形で、道路、交通の主要幹線はほぼ整備されているものの、高齢者、子育て中の家族にとっては、移動に困難性を伴う地域が多い。人口構成(H16.9月)は、全市のほぼ中間ゾーンに位置していますが、昼夜間人口比率は、18区中14位と低く、区外への通勤・通学者が多くなっています。人口増加は、平成2年以後沈静化しており、区域は商業地と住宅地でバランスがとれています。

市民意識調査(H15.9月)における生活環境調査での区民の満足度は、栄、金沢、青葉の各区について4番目と高く、地域に対する評価も高い。

地区センター等区民利用施設は、地域の多様な個人やグループが、各人のライフステージにおいて、学習、文化・芸術、レクリエーション・スポーツなどへの欲求実現のために、身近な場所で気軽に活用することにより、満足と成長の場を提供するものとして、地域コミュニティの醸成に貢献しています。

これらのことから、運営については、地域コミュニティ、ふるさと意識の更なる醸成に向けて、活動等の場と機会の提供を通じて各施設間の連携による機能及びサービスの向上に努めます。

事業計画書様式2－(4)

3 港南地区センターの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

(ウ) 他施設や併設施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

港南地区センターは、区中心部に位置し、交通の利便性があり、平地に立地していることから、地域の利用と全区的な利用と双方の利用ニーズが高いです。又、施設が比較的小規模であることから、人気時間帯の競争率も高くなっています。

住民は定住化しており、高齢化等から改めてふるさと意識への回帰が見られ、新たな交流が求められています。

利用主体は、行政からの委託団体など公共系の割合が高く、スポーツ系は、体育室が小さなこと、近くにスポーツセンターがあることから、役割は、利用者の求めるレベルによって自然に分化しています。

スポーツ系、文化系で600のグループが団体利用しています。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

ニーズ及び意見・要望については、受付での予約・相談の際のほか、①センター委員会 ②利用者会議 ③自主事業参加者 ④近隣地区に居住するスタッフから吸収している。

また、年一回の協会一斉アンケートを行うとともに『お客様の声』の活用など運営に反映していきます。

平地に立地しているため、年齢層の高い利用者が非常に多く、また、サークルを作って活動してきたが、会員の数が減り、会員を増やしたいグループがいくつもあります。全体的には、それぞれのグループの活動が積極的に行われています。

最近では、退職した男性が『どんなサークルがあるのか知りたい。料理教室はあるか。』等聞きに来館するケースが増えています。退職後の生き方を模索しているようです。

団塊の世代と言われる人たちの退職者が増えています。今後は、退職を迎えた男性向けの自主事業の企画が必要となります。立案並びに館の運営に反映していきます。

(ウ) 他施設や行政関係機関との連携について

事業を運営するにあたり、他の地区センターやコミュニティハウスと必要な物品を貸し借りするのみではなく、共同で購入し、連携した自主事業を企画していきます。

特に桜道コミュニティハウスとの関係については、イベントの共同化、自主事業での連携もしていきたいと考えています。

また、他の地区センターやコミュニティハウスとともに、行政関係機関が主催する各種事業に積極的に参加し、各種情報の発信基地としての役割を担い、活力ある地域コミュニティの醸成を目指します。

行政との連携として、港南区役所福祉保健センターで行っている区民へのサービス『ハチ駆除機器』の貸出しを、地域の方の利便性の向上を担い、地区センター窓口で行います。

事業計画書様式2－(5)

4 港南地区センターでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

区民が気楽に利用する施設として、幼児から高齢者まで誰でもが気持ちよく利用できるよう公平・公正な運営のもとに、親切で明るくさわやかな対応を心掛け、可能な限り弾力的な運用、サービス向上を図ります。

利用者の皆様に喜んでいただけるように、季節に応じた花を咲かせることや、気持ちよく利用していただくために、清潔を保つことを心がけます。

また、利用の制限については、必要最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

利用者相互で気持ちよく利用していただくために、事前のセットアップに努めるとともに、予約方法、弾力的利用などのサービスに努めます。

利用方法

- ① 利用者相互に支障がない場合の2分割利用（和室）
- ② 和室への座椅子の常備・増設
- ③ ロビーや各部屋（レクホール・プレイルーム・図書室を除く）での軽飲食を認める。
- ④ 稼働率の少ない部屋は、利用回数の制限を外している。

予約申込み

- ① 予約開始日を2か月前とする。
2か月前の当該日の予約申し込みにあたっては、申込者が多数来館するので、受付表・番号札・くじ等で申し込みやすいよう工夫している。
- ② 電話予約は、改めて本予約に来館されることを条件に受け入れる。

予約情報（空き室情報）

- ① 受付カウンター付近の案内板で、状況が確認できるようになっている。
- ② 横浜市HPの施設ガイド・地区センター情報を随時改訂し、インターネット利用者の利便性を図っている。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

活動の場を必要とする個人・団体のニーズには、①利用可能施設の概要、料金など ②事業メニュー、講座内容、活動グループ ③講師、指導者紹介などがあり、相談内容に応じて、①横浜市、港南区役所（生涯学習支援センター）、地域ケアプラザ等の情報を可能な限り収集・提供するとともに、専門家の紹介・調整・活動の進め方、グループづくりなどについて、可能な範囲で支援します。

事業計画書様式2－(6)

5 事業の実施に関すること

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画書(様式4)

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

自主事業については、企画段階において、地域及び利用者のニーズを適切に反映すると同時に、館としても地域に対する提案力を高めていくことが必要であると考えています。

また、実施に際しては、地域の様々なリーダーを講師、指導者として活用するとともに、各層のボランティアを取り入れていくことなどにより、参加しやすい費用とすることも必要であり、これらにより、自主事業の魅力の向上と地域内の交流を深めることができると考えています。

そして、これからの事業推進の区民の参画を積極的に進め、企画組織の育成、充実をさらに推進し、地域コミュニティの再構築に寄与していきたいと考えます。

港南地区センターでは、交通の利便が良い立地条件であるため、広範囲な地域からの利用があります。その状況を踏まえて、次のような分野に重点を置いて、バラエティに富んだ自主事業を計画していきます。

(1) 地区センター・桜道コミュニティハウス合同企画事業

『はまどり艇』に乗って横浜港を知ろう！

(2) 利用者ニーズに合った事業

- ・ハイハイ前の赤ちゃんマッサージ ・古典を読む『徒然草』
- ・韓国語会話入門 ・写経 ・正月料理 ・クロスステッチ
- ・パソコン教室『エクセル・ワード・インターネット』

(3) 世代間交流事業

- ・『粘土細工教室』 ・『手品道場』入門

(4) 中高年の社会参加事業

- ・囲碁入門 ・余暇を生かす『朗読を楽しむ』 ・リンパに響く健康体操
- ・心が和む『大人のぬりえ』 ・調理とお話『食と健康』

(5) 地域との連携事業

- ・地域の歴史『武相国境の地・港南』 ・はだしに快適『エコぞうり』
- ・アイデアで飾る『デコレーション押し寿司』

(6) 行政との連携事業

- ・横浜開港150周年記念事業『横浜FUNEプロジェクト』共催事業
- ・港南警察の『防犯教室』

事業計画書様式2－（7）

6 施設の経営に関する考え方

（ア）指定期間中の経営に関する基本の方針について

（イ）効率的運営のための具体的な計画について

（ウ）利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

（ア）指定期間中の経営に関する基本の方針について

区民利用施設の設置目的及び港南区区民利用施設協会に期待されている役割を、的確に遂行するために、利用者の満足度に資する円滑な運営・管理と魅力的な事業内容の提供を目指して、協会及び各館並びに事務局が一体となって、『運営』の視点を取り入れて総合的に取り組みます。

利用者への直接の対応は、各館が行いますが、複数施設を運営する当協会の優位性を生かして、役割の発揮とサービス向上に努めます。全体の管理運営面では、設備、機器、資材等のハード面及び事業企画、ノウハウ等のソフト面での連携・活用、予算の弾力的執行等を、財務面では、収入増加策及び経費の節減を図って参ります。各館の運営については、地域との連携について評価と支援をいただいておりますが、より『わかりやすく、心地よい。』をモットーに改善の努力を続けます。

（イ）効率的運営のための具体的な計画について

当協会が行っている複数施設の運営は、

- ① スールットを生かした予算の弾力的執行、職員の採用及び配置等、人事労務
- ② 運営面での利用者に分かりやすく公平であるための、統一的ルール等の設定、運用
- ③ 事業の計画及び実施に係る企画力、ノウハウの活用、連携による内容の充実
- ④ 資材、設備等の共用による有効活用

などの点でメリットを有しており、

- ① 館長等職員の研修の充実と、事務局の総括・調整機能の強化
- ② 年間の業務スケジュールの場面ごとに、館長会議、副館長会議、スタッフ会議を機能的に開催する。

などにより、運営面での調整をはじめ、事業計画上の情報交換、連携、課題の共有・解決策の提示、重要事項の周知徹底等をきめ細かく行います。

収入面では、ニーズを捉えた魅力的事業を企画するなどにより、施設利用率の向上による利用料金収入の増加に努めるとともに、今年度より設置した飲料水自動販売機の販売拡大及びPR媒体等における広告料収入へ向けて検討します。

（ウ）利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

現在は市の限度単価を採用し、稼働率については、前年の稼働実績（率）を元に、館のPR強化、サークルの育成、休日・夜間の利用促進などにより利用率の向上を目指すこととします。将来、稼働率向上等による、より以上の収入増加があった場合、①応分の割合で利用料単価の引き下げ、②稼働率向上を図るための割引料金制の導入などを検討していきます。

事業計画書様式2－(8)

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

(ア) 職員の配置及び採用について

(イ) 職員の研修計画について

(ウ) 個人情報の保護の措置について

(ア) 職員の配置及び採用について

当協会は、地区センターに次のとおり職員を配置します。

常勤職員（館長1名・副館長2名）		時給職員（スタッフ12名）	
4週8休のローテーション勤務		1週間交替勤務	
早番	8時45分～16時45分	午前（2名）	9時00分～13時00分
遅番	13時15分～21時15分	午後（2名）	13時00分～17時00分
		夜間（1名）	17時00分～21時00分
		作業（1名）	7時30分～10時30分

常勤職員、時給職員の採用については、次の方針により、慎重に選考を行います。

館 長

地区センターの施設管理運営の総責任者であり、また多数の職員を統括する立場であるため、『適材適所』の理念を基に、地区センターの運営に意欲のある人材を選考します。

副 館 長

館長を含めて4週8休の体制のため、ローテーションにおいて、館長不在時には館長代理としての責務を担える、地区センターの運営に意欲のある人材を公募し、選考します。

ス タ ッ フ

地域に密着した施設運営を目指す地区センターの役割を理解し、その一員として意欲のある人材を地域住民を対象に公募し、選考します。

(イ) 職員の研修計画について

地区センターの職員として、次に掲げる3点の方針に従って研修を企画実施します。

- ① 利用者ニーズに適切に応え利用者サービスに徹する。
- ② 利用者の安全を十分に配慮し、緊急時の即時対応
- ③ 職員一人一人の能力の向上

(ウ) 個人情報の保護の措置について

『横浜市個人情報の保護に関する条例』に基づき、仕様書別紙3『個人情報取扱特記事項』を遵守して、施設利用者の情報の保護について、適切に取り扱うことを全職員に徹底します。

まず、利用者の個人情報の取得は最小限にとどめ、他利用者の目に触れぬよう、整理・利用・保存の方法を考慮します。また、書類等作成についても、常に意識を持ち、館長を中心として、職員相互によるダブルチェック態勢を機能させ、不用時の廃棄についても、方法を含め適切に処理するよう指導します。

8 緊急時対策について

(ア) 防犯、防災の対応について

(イ) その他、緊急時の対応について

防犯・防災マニュアルを定め、館長をはじめとして全職員に、各種研修等機会を捉えて危機管理意識を徹底します。

(ア) 防犯、防災の対応について

○防犯の対応について

夜間（閉館中）については、安全管理を円滑に行うため、民間警備会社に機械警備を委託しています。建物及びこれに付帯する物件につき、盗難、不法侵入その他不法行為及び火災、ガス等の発生を警報機器などでキャッチし、巡回中の車両が現場に急行するとともに、警察書・消防署等に連絡が行くようになっています。

開館時間内については、職員が常時注意を払って対応し、内容と状況により常備している緊急連絡先一覧により連絡する等、速やかに対応します。

具体的ケースについては、下欄の分担表により対応します。

○防火・防災

館長に防火管理者の資格を取得させており、策定した防災計画に基づき対応します。また、消防署の協力を得て、毎年消防・防災訓練を実施します。

設備関係については、法令による保守・点検を実施し、異常の場合にきちんと機能する状態を保持します。

なお、激甚災害発生時には、地域に貢献するため、高齢者、乳幼児を抱える家族を対象に和室を活用して、休養面を中心とした支援を行うなど、行政の指定避難施設の役割を補充します。

(イ) その他、緊急時の対応について

緊急時には、勤務する職員全員で役割を分担し、利用者安全のために臨機応変に対応します。また、利用者に急病人が出た場合に備えて、各館に毛布を常備し、初期対応に生かします。

◎分担表<0-テ-3>勤務のため最小配置人数（夜間時間帯を除く）が3人となるため>

職 員	A	B	C
役 割	総括・連絡	現場対応	避難誘導

※夜間時間帯は2人体制となるが、状況判断を適切に対応することを日頃から確認し合う。

◎緊急連絡網

①警備委託会社等
②関係機関緊急連絡先『警察、消防、医療機関、学校等
③施設職員、地区センター委員会委員
④施設協会事務局、区役所

自主事業計画書

団体名 港南地区センター

事業名	①募集対象 ②募集人員 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
横浜開港150周年記念事業 『横浜FUNEプロジェクト』 施設協会合同事業	小学4年～一般 40人 なし	10,000	10,000	0	0	0	10,000
横浜開港150周年記念事業 「はまどり」艇に乗って 横浜港を知ろう! 地区以外・桜道CH合同事業	一般 15名(総数50人) 500円	10,000	2,500	7,500	0	0	10,000
港南警察の『防犯教室』 4回シリーズ	一般 20から50名 なし	20,000	20,000	0	0	0	20,000
旬の紫蘇で ジュース作り	一般 20人 500円	22,500	12,500	10,000	9,000	10,000	3,500
はだしに快適 『エコぞうり』	一般 20人 600円	24,000	12,000	12,000	10,000	12,000	2,000
エコ・クラフトテープで 『かごを作る』	一般 20人 500円	21,000	11,000	10,000	9,000	10,000	2,000
アイデアで飾る 『デコレーション押し寿司』	一般 20人 800円	35,000	19,000	16,000	9,000	16,000	10,000
囲碁入門 全4回	一般 20名 1000円	83,000	63,000	20,000	28,000	5,000	50,000
余暇を活かす 『朗読を楽しむ』 全5回	一般 20名 1000円	75,000	55,000	20,000	35,000	20,000	20,000
心が和む 「大人のぬりえ」 全4回	一般 20人 500円	43,000	33,000	10,000	28,000	10,000	5,000
『手品道場』入門 全8回	一般 20人 600円	73,000	61,000	12,000	56,000	12,000	5,000
粘土細工教室 全4回	小学生から一般 20名 500円	43,000	33,000	10,000	28,000	10,000	5,000
調理とお話 「食と健康」 全6回	一般 20名 3000円	154,000	94,000	60,000	84,000	60,000	10,000
	小計	613,500	426,000	187,500	296,000	165,000	152,500

自主事業計画書

団体名 港南地区センター

事業名	①募集対象 ②募集人員 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
リンパに響く 健康体操 全8回	一般 15人 1600円	50,000	26,000	24,000	48,000	0	2,000
ハイハイ前の 赤ちゃんマッサージ 全6回	乳幼児と保護者 15組 1200円	51,000	33,000	18,000	36,000	5,000	10,000
パソコン教室『入門』・ 『エクセル・ワード』 全4回×2コース	一般 13人×2コース 3,000円	135,000	57,000	78,000	80,000	10,000	45,000
パソコン教室『初級』・ 『インターネット』 全4回×2コース	一般 13人×2コース 3,000円	200,000	122,000	78,000	80,000	10,000	110,000
古典を読む 『徒然草』 全8回	一般 20人 2000円	79,000	39,000	40,000	64,000	10,000	5,000
韓国語会話・入門 全10回	一般 15人 3,000円	67,000	22,000	45,000	60,000	5,000	2,000
地域の歴史 『武相国境の地・港南』 全10回	一般 20組 3000円	140,000	80,000	60,000	120,000	10,000	10,000
正月料理 全2回	一般 16人 3,000円	74,000	26,000	48,000	16,000	48,000	10,000
クロスステッチ 全3回	一般 15人 1000円	35,000	20,000	15,000	18,000	15,000	2,000
写経 全6回	一般 20名 2000円	82,000	42,000	40,000	42,000	20,000	20,000
	小計	913,000	467,000	446,000	564,000	133,000	216,000
	合計	1,526,500	893,000	633,500	860,000	298,000	368,500

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜開港150周年記念事業 『横浜FUNE プロジェクト』	<p>(目的)</p> <p>横浜開港150周年記念事業へ協会として参加する。こどもから大人が共同の目的で、共同作業をすることにより交流を図る。</p> <p>≪施設協会8館合同事業≫</p> <p>(内容)</p> <p>横浜開港150周年協会が計画した内容で、参加者がダンボール等を素材としたFUNE(船)をつくる。会場提供、参加者募集、当日の運営補助等を担う。 制作指導：日比野克彦アートデザイナー。・東京芸術大学他学生ボランティア 会 場：野庭地区センター</p>	10月又は、11月 1回(4日間)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜開港150周年記念事業 『はまどり』艇に乗って 横浜港を知ろう!	<p>(目的)</p> <p>横浜開港150周年記念事業の企画を利用して、横浜の物流・観光の中心、横浜港を知る。各地域の住民が一堂に会して講義を聞き、一緒に見学することによって、住民同士の交流を図る。</p> <p>≪4館合同事業(港南・野庭・東永谷・桜道)≫</p> <p>(内容)</p> <p>港南区内に集合し、全員貸し切りバスで開港記念会館に移動する。そこで港湾局の出前講座を受けた後、徒歩で物流施設見学後、海事広報艇で横浜港内見学。</p>	5月22日(木) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南警察の 『防犯教室』 4回シリーズ	<p>(目的)</p> <p>地域の警察署の協力を得て、最近頻発している犯罪から身を守るための知識を得る。</p> <p>(内容)</p> <p>①空き巣・ひったくり・インターネット犯罪：講話②痴漢対策・護身術：講話と実技③オレオレ詐欺と④悪質商法は講話と寸劇。分かりやすく興味を引く方法(実技・寸劇)を交えて、昨今の犯罪の手口・内容を学び、被害に会わないように知識を身につける。</p>	春・夏・秋・冬 各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旬の紫蘇で ジュース作り	<p>(目的)</p> <p>地域の元消費生活推進員に学ぶ。地元の講師による料理教室。季節感のあるもので、健康増進に役立つ簡単な調理を学び、家庭でも楽しんでもらう。</p> <p>(内容)</p> <p>その時期に新鮮な素材が手に入る紫蘇を使って、無添加のジュースをつくる。家族のために作ったり、季節感を味わったりするのによい。</p>	6月 1回

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はだしに快適 『エコぞうり』	<p>(目的)</p> <p>地域の元消費生活推進員に学ぶ。地元の講師とともに、エコロジ精神を生かした「実用品を作る」シリーズの1回目。</p> <p>(内容)</p> <p>家庭で不要になった布を使ってのわらじ作り。作ることが楽しい、履き心地がよいと大好評のため、昨年に続いて実施。手作りの楽しみと使う楽しみが同時に味わえる。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコ・クラフトテープで 『かごを作る』	<p>(目的)</p> <p>地域の元消費生活推進員に学ぶ。地元の講師とともに、エコロジ精神を生かした「実用品作る」シリーズの2回目。</p> <p>(内容)</p> <p>再生紙を使ったクラフトテープで、バックやかごを作る。リサイクルの安価な素材で、おしゃれなバックや、ごみ箱などの実用品を作る。応用すれば、おしゃれな小物やその他にも実用品を作って楽しめる。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アイデアで飾る 『デコレーション押し寿司』	<p>(目的)</p> <p>地域の元消費生活推進員に学ぶ。地元の講師による料理教室。幼児からお年寄りまで楽しめる一品を教わる。家庭の行事に作る料理として、応用範囲が広い献立を選んだ。</p> <p>(内容)</p> <p>ひな祭りの行事に合わせたトッピングで押し寿司を飾る。安価な材料で、彩り鮮やかに、見た目に楽しく、家族の人数に合わせて作れる便利な一品。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁入門	<p>(目的)</p> <p>リタイアした団塊の世代や、女性を意識した企画。新しく趣味として始める人を対象に、入門レベルの内容とする。地域社会と交わる場を提供する。</p> <p>(内容)</p> <p>囲碁の基礎を学ぶ。リレーで碁を打つなどの、参加者同士が交流する方法も取り入れる。講座後、趣味として継続していく気持ちが育つような内容にする。</p>	下期 4回

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
余暇を生かす 『朗読を楽しむ』	<p>(目的)</p> <p>リタイアした団塊の世代を意識した企画。声を出して読むということの目的は、文学を楽しむことの他に、健康法として、ボランティアの足がかりとしてなどの楽しみ方がある。目標は参加者が体験して決める。</p> <p>(内容)</p> <p>声を出して本を読むことは、健康に良いという。まず、朗読の楽しさを知る。幼児やお年寄りへの読み聞かせや、聴覚障害者ボランティアなどへの取り組みにも触れる内容。</p>	<p>上期</p> <p>5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こころが和む 『大人のぬりえ』	<p>(目的)</p> <p>気軽に参加できて、心が豊かになるような講座。技量を必要としない、誰にも出来る、楽しめる内容で中高年の社会参加を促す。</p> <p>(内容)</p> <p>大人向けの塗り絵。今まで美術に縁の無い人も、色彩をたのしむ、色の組み合わせを楽しむ、名作に触れる、などによって心豊かな時間を過ごす。</p>	<p>下期</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
『手品道場』入門	<p>(目的)</p> <p>世代を超えて楽しめる手品を覚える。周囲を楽しくさせる趣味を身につけて、家庭で職場で人間関係を豊かにするのに役立つ。</p> <p>(内容)</p> <p>クリスマスや正月の家族団らんに、又は職場の集まりなどで披露出来るように、楽しみながら手品を覚える。最後は、参加者同士でミニ手品大会を開き、子供や知人に披露する。</p>	<p>10月、11月</p> <p>8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
粘土細工教室	<p>(目的)</p> <p>年齢や、経験を問わず参加者を募り、楽しく粘土で作品を作る。世代を越えた交わりの場を作る。</p> <p>(内容)</p> <p>粘土をこねる、造形をする。お互いに作品を鑑賞し合って、発想の妙を楽しむ。</p>	<p>7月、8月</p> <p>4回</p>

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理とお話 『食と健康』	<p>(目的)</p> <p>健康と食事は、どのように関連しているのか、又、健康な生活を送るためには食が如何に重要かを、専門家の話と、献立・調理実習で学ぶ。</p> <p>(内容)</p> <p>栄養士から、健康と食事の結びつきや、献立の説明を受けた後に、調理実習を行う。家庭で使える献立を作って味わってみる。</p>	5月～9月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リンパに響く健康体操	<p>(目的)</p> <p>定期的に体を動かす習慣作りと健康増進を目的とする。</p> <p>(内容)</p> <p>無理なく誰にでも出来る体操。ヨガ・気功・温熱健康法などを取り入れた体操を講師の指導で行う。和室のリラックスできる空間で、体の健康作りとストレス解消をする。講座終了後も家庭で継続が容易な内容を取り入れる。</p>	9月～10月 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハイハイ前の 赤ちゃんマッサージ	<p>(目的)</p> <p>子育て支援としての計画。同じような立場の参加者同士が、講座を通じてコミュニティを形成する場を提供する。</p> <p>(内容)</p> <p>這い這いする前の赤ちゃんを母親の手でマッサージしてあげる。産後の母親の体調に良い体操も組み込む。</p>	5月～6月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン教室 『入門』 『エクセル・ワード』	<p>(目的)</p> <p>昨今はパソコンを利用すると、必要な情報の取得や趣味の領域で、便利さや楽しさが無限に広がる。公共施設の役割として、日ごろ、その機会の少ない人に講座を通じてその長所を味わってもらい、いろいろな場面で積極的に活用してもらおう。</p> <p>(内容)</p> <p>パソコンの初心者の技術レベルとアンケートのニーズによって、2コース設定。「パソコンに慣れるコース」と「パソコンの一般的なソフトであるエクセル・ワードを学ぶコース」。</p>	7月 4回2コース

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン教室 『初級』 『インターネット』	<p>(目的)</p> <p>昨今はパソコンを利用すると、必要な情報の取得や趣味の領域で、便利さや楽しさが無限に広がる。公共施設の役割として、日ごろ、その機会の少ない人に講座を通じてその長所を味わってもらい、いろいろな場面で積極的に活用してもらおう。7月とは内容を変えて実施。</p> <p>(内容)</p> <p>パソコンの初心者の技術レベルとアンケートのニーズによって、2コース設定。「広くパソコンの機能を習得するコース」と「インターネットを使いこなすコース」。</p>	9月 4回2コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を読む 『徒然草』	<p>(目的)</p> <p>生涯学習としての企画。古典の名作を時間をかけてじっくり味わうことのきっかけ作り。</p> <p>(内容)</p> <p>その一節を一度は耳にしたことのある古典の代表作『徒然草』を読み、解釈する。鎌倉幕府が滅亡する時期の、乱世に生きた兼好法師の無常観や人間観を味わう。</p>	5月～7月 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
韓国語会話・入門	<p>(目的)</p> <p>生涯学習としての企画。身近な隣国の言語を学ぶことを通して、他国の文化や習慣を理解しようとするきっかけ作り。</p> <p>(内容)</p> <p>韓国生まれの韓国人講師による生きた会話を学び、簡単なコミュニケーションが出来るようになることを目指す。毎回自由なおしゃべりの時間を設けて、文化や習慣などを知る。</p>	4月～6月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の歴史 『武相国境の地・港南』	<p>(目的)</p> <p>生涯学習としての企画。地域の歴史及び関連する歴史を学ぶことによって、郷土愛や連帯感を養う。</p> <p>(内容)</p> <p>中世から現代への変化の中で、港南区の成立までの歴史や出来事に関する講話を聴き、実際に歩いてみる。</p>	5月～2月 10回

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
正月料理	<p>(目的)</p> <p>利用者のニーズによる企画。日本の伝統的な行事を受け継ぐ心を育てる。</p> <p>(内容)</p> <p>正月料理の中で、家庭で手作りをすると喜ばれるような献立。早速作ってみたくなるような基本的なものを作る。</p>	11月～12月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クロスステッチ	<p>(目的)</p> <p>利用者のニーズによる企画。場所を取らず、道具も安価なので、取り組み易い趣味として紹介する。</p> <p>(内容)</p> <p>講師の作品を鑑賞し、大きめの布目を使用した3回で仕上がる作品をつくる。</p>	上期 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
写経	<p>(目的)</p> <p>利用者のニーズによる企画。忙しい時代に求められる心のやすらぎを得ながら、東洋文化や文字文化に触れる。</p> <p>(内容)</p> <p>小筆による経典の浄写と解説。書道の心得を問わない。継続して、奥を深めていくきっかけとなるような指導をする。</p>	下期 6回

わんぱくサタデー事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしのひろば	<p>(目的)</p> <p>子育て支援。幼児と母親の友達作りの場所とする。</p> <p>(内容)</p> <p>プレイルームで、月1回定期的に開催。読み聞かせ・歌・手遊び・紙芝居などを行う。活発に楽しく参加できるように、その日の出席者の年齢構成で出し物を工夫する。</p>	毎月第3金曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子人形劇場	<p>(目的)</p> <p>幼児から高齢者まで大勢の参加を呼びかけて、鑑賞しながら世代間交流を図る。本物と触れ合うことによる感動は、世代を超えて心を豊かにするため、毎年1回定期的に開催。</p> <p>(内容)</p> <p>アマチュア 4劇団が出演する。人形劇、オペレッタ、パネルシアター、大型紙芝居など。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しゃぼん玉を飛ばそう	<p>(目的)</p> <p>心が和む、安価で素朴な楽しい遊びを経験する。屋外の遊びを体験して、自然に親しむ気持ちを育てる。割れない工夫や大きく作る工夫など、遊びから学ぶ。</p> <p>(内容)</p> <p>しゃぼん玉の道具と液体を貸し出して、中庭で自由に遊ぶ。大きな輪や連続して出るしゃぼん玉を飛ばしてみる。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕飾り	<p>(目的)</p> <p>日本の伝統行事に親しむ。宇宙に思いを馳せ、空想の世界を楽しむゆとりを作る。</p> <p>(内容)</p> <p>大きな竹をロビーに飾る。約1週間の間、幼児から大人まで、来館者は用意した短冊に願い事を書いて、自分で笹に結ぶ。笹飾りと短冊の豪華なたなばたは、毎年好評で楽しみにされている。</p>	7月 1回

わんぱくサタデー事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子木工教室	<p>(目的)</p> <p>親子共同作業で、手作りの楽しさを味わう。家庭で使う道具の安全な使い方を覚える。木を切る、寸法を測る、釘を打つなどの作業を通してものを作る楽しさを味わう。</p> <p>(内容)</p> <p>専門家から道具の安全な使い方の説明を受けた後、素材から木工の小作品を作る。夏休みの工作の宿題として提出できるような作品作りを目指す。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パラバルーンで遊ぼう	<p>(目的)</p> <p>親子で体を使って、楽しく遊ぶ。大人数で遊ぶ時のルールを身に付けたり、思いやりを育む。</p> <p>(内容)</p> <p>指導者のもとに、広い場所で思い切りパラバルーンを広げたり、中に入ったりして楽しむ。共同作業で大きな喜びを作り上げる。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱくクッキング『ケーキ作り』	<p>(目的)</p> <p>子供の大好きなものを作りながら、チームワークや安全についての知識を身につける。</p> <p>(内容)</p> <p>デコレーションを工夫して、季節のケーキを作る。作ったものを、その場で全員で味わいながら、感想を述べ合う時間も取る。家族へのお土産も作りたい。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
魔法の積み木・カブラ	<p>(目的)</p> <p>単純な形の積み木を使って、じっくり遊ぶ。想像力を働かせ、集中力を発揮して遊ぶ楽しさを体験する。</p> <p>(内容)</p> <p>インストラクターが遊び方のヒントを与えて、小動物や乗り物などを作ってみる。積み木に慣れたら、共同作業で背丈より大きなものに挑戦する。</p>	下期 1回

わんぱくサタデー事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手品道場	<p>(目的)</p> <p>友人や家族とのコミュニケーションを図る方法の一つ。習得したときの満足感を味わう。</p> <p>(内容)</p> <p>講師の手品を鑑賞する。その後、道具立てが簡単で、たのしい手品を覚える。学校や家庭で披露できる技を身につける。</p>	下期 1回

(様式10)
平成20年度

収支予算書

施設名 港南地区センター

収入の部

(単位:千円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	31,223				0	横浜市より
利用料金収入	2,513					19年12月より音楽室増
自主事業収入	670				0	
雑入	781	0	0	0	0	
印刷代	280				0	
自動販売機手数料	180				0	
その他(預金利子)	1				0	
その他(カラオケ使用料)	120				0	19年12月より開始
その他()	200				0	第三者評価補助金
収入合計	35,187			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	19,142	0	0	0	0	
給与・賃金	17,272				0	
社会保険料	1,468				0	
通勤手当	273				0	
健康診断費	111				0	
勤労者福祉共済掛金	18				0	
事務費	1,555	0	0	0	0	
旅費	30				0	
消耗品費	694				0	
会議賄い費	20				0	
印刷製本費	50				0	
通信費	276				0	
使用料及び賃借料	0				0	
備品購入費	200				0	
図書購入費	0				0	
施設賠償責任保険	15				0	
職員等研修費	10				0	
振込手数料	0				0	
リース料	0				0	
手数料	250				0	第三者評価受審料200含
地域協力費	0				0	
その他(諸費)	10				0	
事業費	1,863	0	0	0	0	
自主事業費	1,527				0	参加費634千円含む
わんぱくホリデー	336				0	参加費36千円含む
管理費	9,255	0	0	0	0	
光熱水費	4,450	0	0	0	0	
電気料金	2,100				0	
ガス料金	1,400				0	
水道料金	950				0	
清掃費	610				0	
修繕費	400				0	
機械警備費	535				0	
設備保全費	3,260	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	1,445				0	
消防設備保守	72				0	
電気設備保守	652				0	
害虫駆除清掃保守	38				0	
その他保全費	1,053				0	法定設備点検含む
共益費	0				0	
公租公課	1,030				0	
事務経費	1,504				0	
二一ズ対応費	838				0	
支出合計	35,187	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--